



国際ロータリー第2660地区

地区委員会  
活動報告書

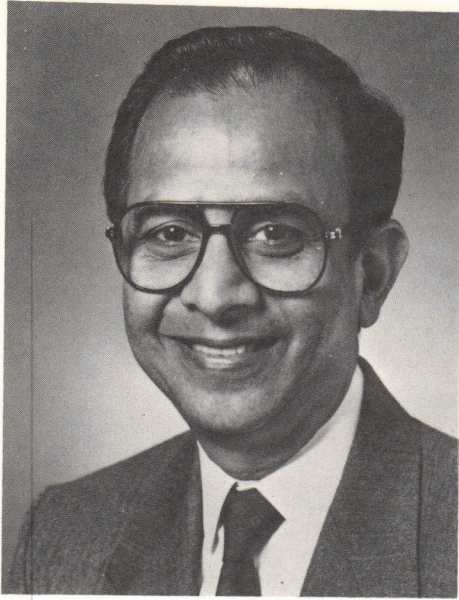
1991～'92年度

ガバナー 菅生浩三

1991～'92年度 合同地区委員長会議  
1992～'93

1992年 5月 16日(土)

於：薬業年金会館



ラジェンドラ・K・サブー  
1991～'92年度国際ロータリー会長

Raja

ロータリアンの皆さん：

私達が、自分の心の底を深く見つめる時、私達は自分本位の考え方、言い草、行動という砦を脱け出して、自分を越えた世界に導く内なる力の存在に気がつくでしょう。この無窮の躍動する内なる駆動力によって、人の子の魂は大いなる未見の空に高く羽ばたきます。その時、私達は夢みるでしょう、使命感を覚えるでしょう。夢とは内なる平和、恐れと飢えのない仕合わせな世界です。使命とは、積極的な奉仕の活動によって、この夢を現実の

ものにする事です。あなたあればこそ、ロータリーは、この夢、この使命を抱くのです。何故なら、あなたには**自分を越えた眼**を持つ大いなる力があるからです。

これは一体あなたにとってどういうことを意味するのでしょうか？一寸考えてみましょう。人生において「自分」また「自分のもの」から「**私達みんなの**」という新しい視点への転換は、先ずあなた自身の心の内奥を見つめ、それから自分を越えて、あなたの家族、あなたのクラブ、あなたの地域社会、あなたの国、そして私達の世界へと眼を向けることによって自然に出てきます。ロータリーの目標——他者への奉仕——が世に輝くとき、あなたの配慮は崇高なものとなります。義侠心に富むあなたなら、人々の生活を名実共により良くしようと努めるでしょう。他人を助けようと手をさしのべるようになれば、あなたの思いやりの手が、愛の力になったということです。「他の人々」が、あなたの世界の仲間になった時、あなた自身が本当に成長するのです。

一人のロータリアンとして、あなたは夢みる人であると同時に、行動する人でなければなりません。**自分を越えた眼**を持つなら、あなたは達成すべき目標を設定し、そしてこれを実現するための行動に移るでしょう。まことに——ロータリアンであるということは、**自分を越えた眼**を持つということです。単なるクラブ会員か、ロータリアンかの岐れ道がここにあります。この岐れ道を越えた時、あなたは私達の大いなる理想——奉仕の理想を追求する力を得て、その付託に応えられるのです。

敬具





自分を超えた眼を *Look Beyond Yourself*

目 次

プログラム

合同地区委員長会議開催にあたって  
ガバナー 菅生浩三…………… 1

地区ガバナー指名委員会…………… 2  
意義ある業績賞委員会…………… 3

クラブ奉仕部門

会員増強委員会…………… 5  
広報・雑誌委員会…………… 7  
規定情報委員会…………… 8

拡大部門

拡大委員会…………… 10

職業奉仕部門

職業奉仕委員会…………… 12

社会奉仕部門

社会奉仕委員会…………… 15  
ボランティア活動委員会…………… 18  
環境保全委員会…………… 19

青少年奉仕部門

青少年活動委員会…………… 21  
ローターアクト委員会…………… 23  
インターアクト委員会…………… 26

国際奉仕部門

世界社会奉仕委員会…………… 27  
青少年交換委員会…………… 28  
国際交流・平和委員会…………… 32

ロータリー財団部門

ロータリー財団委員会…………… 34  
財団奨学金委員会…………… 35  
財団増進委員会…………… 40  
財団学友委員会…………… 41  
研究グループ交換委員会…………… 42

米山奨学部門

米山奨学委員会…………… 44  
ロータリーの友…………… 47  
地区大会…………… 48  
収支報告書…………… 50

国際ロータリー第 2660 地区  
1991～'92・1992～'93年度  
合同地区委員長会議  
プログラム

1992年5月16日(土) 10:00～  
於：薬業年金会館 3階301号室

- 9:30 登録開始
- 10:00 開会点鐘 ガバナー 菅生 浩三
- 10:00～10:30 ロータリーソング「奉仕の理想」
- 挨拶 参加者・委員長紹介 ガバナー 菅生 浩三
- 挨拶 次期委員長紹介 ガバナーノミニー 山中 文和
- 10:30～12:00 本会議 本年度委員会の活動について 各委員長  
指名 / 意義ある業績賞 / クラブ奉仕  
拡大 / 職業奉仕 / 社会奉仕
- 12:00～13:00 休憩・昼食
- 13:00～14:35 本会議 本年度委員会の活動について 各委員長  
国際奉仕 / ロータリー財団 / 米山奨学
- 14:35～14:50 休憩
- 14:50～15:50 本会議 本年度委員会の活動について 各委員長  
青少年奉仕 / ロータリーの友  
地区大会 / 財務
- 15:50～16:00 謝辞 ガバナー 菅生 浩三  
ロータリーソング「我等の生業」
- 16:00 開会点鐘 ガバナー 菅生 浩三

(進行：地区代表幹事 土井 正裕)



## 合同地区委員長会議開催にあたって

ガバナー 菅 生 浩 三

1991～92年度も、あと1か月有半を余すのみとなりました。本年度の各地区委員会の委員長の皆様方におかれましては、本年度のR Iのテーマ“自分を越えた眼を”に従い、ご担当の各委員会の活動につきまして、色々な角度からご検討を加えられ、適切で綿密な活動計画を策定され、強力で熱意溢れる活動をご展開頂きまして、まことに有難うございました。お蔭様で、本年度の地区の委員会活動も、大変活発で実効性豊かなものとなり、感謝に堪えません。就中、本年度の委員長の方々のうち、目幸等遷、名張隆政、野村浩司、大西淳、永野啓之介、和田俊一、小山隆三、仲芳樹、古市実、和田健の各委員長におかれましては、それぞれローターアクト、財団奨学金、国際交流平和、規定情報、米山奨学、会員増強、ボランティア活動、財団学友、拡大、インターアクトの各委員会のため、本年度は勿論のこと、累年素晴らしいご努力と実績を積み重ねられ、当該地区委員会活動に磐石の基礎を築いて頂きました。これらの委員長の皆様は、本年度終了を以て惜しまれつつ委員長をご退任されるご予定と承っており、何とも残念至極でございますが、そのご功績は不滅であり、永く当地区活動の中に引き継がれて参ることと存じます。茲に、あらためまして、幾重にも敬意と感謝を捧げるものであります。

地区委員会のお仕事は、単年度限りのものもあり、また、継続的な性格なものもありますが、いずれにせよ、現今のロータリーの活動の活性化のためには、ロータリアン各自が、現場を知ること、自ら行動すること、外部の情報を勉強することが必要でありましょう。勿論、ロータリー活動の原点は各クラブにあると存じますが、このようなロータリー活動活性化のために必要な諸々の計画及び実行と必要な調整にご尽力頂くことが、地区委員会の主たるお仕事かと存じます。何卒本年度内に完了されなかったお仕事や、性格上次年度に継続すべきお仕事などにつきましては、新委員長とお打合せのうえ、十分にお引継ぎに必要な措置を講じて下さいますようお願い申し上げます。最後になりましたが、新しいガバナーのもとで、新しい地区委員会が清新にして活力溢れる活動をご展開下さいますよう、心から祈念いたしまして、私のご挨拶といたします。

## 地区ガバナー指名委員会

委員長 廣瀬 勘一郎 (大阪西南)	委員 中村 俊一 (東大阪)
委員 原田 秀雄 (大阪北)	” 中西 正二 (大阪西)
” 伊藤 恭一 (大阪)	” 坂東 宏 (吹田)
” 伊瀬 芳吉 (池田)	” 松本 良諄 (大阪東)
” 種田 憲次 (大阪住吉)	” 古田 敬三 (大阪)
” 戸田 孝 (八尾)	” 武尾 敬之助 (大阪西北)
” 世戸 一夫 (大阪難波)	

地区ガバナー指名委員会は、ガバナー月信第2号(8月号)において、地区内各クラブに対し国際ロータリー細則第12条第7節(e)及び当地区ガバナー指名委員会規約6により候補者の推薦をお願いしましたが、期日迄にそのお申し出がありませんでした。

そこで、地区ガバナー指名委員会規約6の規定に基づき、平成3年10月1日開催した地区ガバナー指名委員会において慎重審議の結果、全員一致をもって、茨木ロータリークラブ会員大森慈祥君を1993～'94年度国際ロータリー第2660地区ガバナーノミネー候補者として推薦することを決定しました。

～MEMO～



## 意義ある業績賞委員会

委員長 廣 瀬 勘一郎（大阪西南）

委員 古 田 敬 三（大 阪）

“ 武 尾 敬之助（大阪西北）

平成3年11月14日に委員会を開き、申請のあった10件について審査を行った結果、全員一致で下記の通り受賞候補を選び、地区ガバナーに報告しました。

### 1. 「意義ある業績賞」（R I会長表彰）

豊中南R.C.

豊中南R.C. はNHK大阪放送局後援で、“環境保全シンポジウム「あなたの飲み水どんな水」～淀川水系を考える～”を主催。基調講演「地球の環境保全」竹村健一氏、パネルディスカッション「淀川水系を考える」、小学生からの作文募集とその表彰等、地域の住民と子供達の環境意識の啓発に多大の成果を上げた。また、当日の様子はNHKテレビで放映され、ミニコミ紙、水道業界誌等にも掲載された。

この活動は、ロータリークラブの社会奉仕活動であり、かつロータリーを広報するものとして「意義ある業績賞」を贈るものである。

### 2. 「準意義ある業績賞」（地区ガバナー表彰）

#### ① 大阪中央R.C.

『フィリピン3780地区への大学奨学金制度とコンピューター教育制度』

大学奨学金制度：1990～'91年度から始めたクラブ独自のWCS活動。成績優秀ながら経済的に恵まれない高校卒業生で、国立フィリピン大学理科系学科に進学する学生に対し、4年間の奨学資金を援助する奉仕活動。サンフランシスコ デル モンテ

R Cと協定を結び、同クラブの責任選考で、奨学金は大阪中央R Cから同クラブ「奨学基金会社」へ送金する。

コンピューター教育制度：1991～'92年度より開始のW C S活動。上級学校に進学できない高校生に、訓練用の機材（コンピューター及びプリンター）を提供することにより、多数の若者がコンピューターオペレーションの職業訓練をうけ、良い就職機会を得ることが可能となる。機材購入資金は、大阪中央R C・3780地区・ロータリー財団同額特別助金による。

## ② 大阪平野R.C.

『タイ・ブラカノン地区の目の不自由な小学生にメガネを贈呈』

1981年度に同クラブ会員個人が始めた奉仕活動で、1986年度以降大阪平野R CとブラカノンR Cと共同のW C S活動となる。ブラカノン地区の小学生45,000人の内、目の不自由な児童で経済的理由によりメガネが購入できない児童6,000に対するメガネの贈呈で、今日までの贈呈数は2,000個である。

バンコック市内眼鏡店による無料検眼、ロータリアン夫人・ボランティアの協力のもとに実施、現地マスコミの話題となる。

## 3. 「地区奉仕活動賞」（地区ガバナー表彰）

### ① 八尾中央R.C.

『特別養護老人ホーム・同診療所への会員の奉仕活動』

### ② 大阪難波R.C.

『“豊かな福祉社会をめざして”と題する講演会とアトラクションを後援』

### ③ 大東R.C.

『地区大会にモスクワR C会員2名を招待、相互理解と親善につくす』

### ④ 大阪なにわR.C.

『受け入れ・派遣奨学生、G S E受け入れ団員に対する奨学援助基金制度の活用』

### ⑤ 大阪城東R.C.

『過去10年にわたる日本ライトハウス主催チャリティコンサートを後援』

### ⑥ 箕面R.C. / 箕面中央R.C.

『“市民交流イモ掘り大会”を主催』

### ⑦ 八尾東R.C.

『“老人招待カラオケ大会”を主催』



## クラブ奉仕部門

担当パストガバナー 廣瀬 勘一郎 (大阪西南)

### 会員増強委員会

委員長 和田 俊一 (大阪平野)  
委員 八田 昌三 (豊中南)  
" 山本 三雄 (大阪大淀)  
" 大津 久直 (大阪東淀)  
" 中西 敏明 (吹田西)  
" 山崎 啓一 (大阪平野)

#### 1. 委員会開催

a. 第1回 平成3年5月15日開催

廣瀬ガバナー、菅生ガバナーノミニーの出席を得て1991～1992年度の委員会活動について、菅生ガバナーノミニーが示された重点施策を力点として、過去の実績並びに要因を基軸として活動計画に関して協議決定した。

b. 第2回 平成3年8月29日開催

菅生ガバナー、廣瀬クラブ奉仕部門担当パストガバナーの出席を得て、地区会員増強委員長会議開催の内容につき協議

#### 2. 各クラブの会員増強委員会活動計画資料収集の実施

各クラブが会員増強に関して本年度の活動方針を調査して地区委員長会議の参考資料とする為に「会員増強委員会活動方針」と各クラブ疑問点についての報告を求め、9月中旬に行う委員長会議の資料とした。

### 3. クラブ会員増強委員長会議開催

平成3年9月18日(水)午後2時より薬業年金会館に於いて、菅生ガバナー、広瀬奉仕部門担当パストガバナー、山中ガバナーノミニエ、村岡地区拡大アドバイザー、地区会員増強委員会委員並びに各クラブ会員増強委員長等の出席を得て、会員増強の必要性に対する活動の促進及びロータリー現況に関し、各種資料を基に論議された。

### 4. 例会卓話に出席

8月の「会員増強及び拡大月間」に伴い、月間中に要望のあったクラブ例会に出席し、月間に因んだ卓話を実施した。

### 5. 視聴覚資料の購入

各クラブの会員に対して、8月会員増強月間に際して会員増強の必要性をアピールするため「会員増強：クラブの取り組むべき課題」のスライドを上映するように説明し、多数クラブの申込を受け、追加購入をして常備することにした。

### 6. 残余期間について

本年度拡大された2ロータリークラブは、何れも創立会員が62名で有るのに、本年度会員増強の重点的目標である50名未満のクラブの増強について、期末迄に懇談会をもつ予定である。

～MEMO～



## 広報・雑誌委員会

委員長	足達忠利(吹田)
委員	福西幸夫(大阪心斎橋)
”	木戸栄久(大阪)
”	田中経久(大阪東)
”	小松陽一郎(大阪阪和)
”	竹田正司(大阪心斎橋)
ビデオ・スライド銀行	” 中村覚(大阪北)
”	” 清野耕作(茨木)
”	” 新田久治(大阪中央)

### 1. ガバナーとマスコミ幹部との懇親会

8月9日(金)大阪ターミナルホテルにおいて開催した。

菅生治三ガバナー及び担当パストガバナー、地区委員およびマスコミ関係12社が出席。

本年度地区奉仕活動の説明および米山奨学会、ロータリー財団、ポリオプラス活動などについて、資料を配布し詳しく説明した。

### 2. クラブ広報委員長会と同雑誌委員会

9月10日(土)に薬業年金会館において開催した。

広報委員会では、本年度の広報活動計画及び地区広報の基本的な考え方を説明。本年度より新たに設置された「ビデオ・スライド銀行」についての説明を行った。雑誌委員会では「ロータリーの友をもっと面白くするために」というテーマで各クラブからのアンケート解答をもとに活発な討論を行った。

### 3. 「ロータリー広報ニュース」の発行

毎月マスコミほか約50社に送付。

ロータリーの活動を広く知っていただくには、ロータリー側からの積極的なアプローチが必要であります。そこで本年度より毎月、上記の広報ニュースを発行し、ロータリーの奉仕活動を定期的に送付しております。

#### 4. 「ビデオ・スライド銀行」

ロータリーへの理解をさらに深めて頂き、奉仕活動の現状を“目で見て”いただくため、菅生ガバナーの提唱でビデオ・スライド銀行」を設置して、まずビデオ作品から製作を開始しました。4人の委員のご協力を得て、順次作品が完成しています。

完成済の作品

- G.S.E.
- ニコニコ・キャンプ
- S & C海遊館
- 山のライラ・山のライラ
- 身障児白浜招待旅行

今後の製作予定作品

- インターアクト
- ロータアクト
- 財団及び米山奨学生

なお貸出しは無料。買取りは1本1万円。

#### 5. 本年度、地区活動について

「ロータリーの友」に投稿、平成4年4月号で大きく掲載された。

### 規 定 情 報 委 員 会

委員長	大西	淳	(大阪平野)
委員	三宅	謙伍	(大阪平野)
”	水山	章	(大阪堂島)
”	坂本	好男	(大阪阪南)
”	赤根	賢治	(大阪阪和)
卓話銀行	”	橋本	崇志(大阪北)
”	”	伊藤	徳次郎(吹田)

1992年規定審議会立法年度に当る故、委員会活動はそれら提出立法案の検討と地区内クラブへの情報伝達が基本となる。更に今年は久々に地区内クラブより制定案の提出があった。大阪城東R.C.よりの「パスト・サービスに関する規定を改正する件」であるが、現



行規定で会員身分について生じうる具体的不都合が無しとする当地区委員会の解釈との調整に昨年春より鋭意努力し、一旦提案者の撤回の同意が得られたが、結局後日R・I・よりの通知で制定案92～20として提出されていることを承知した。その後も本件をめぐり委員会として専心提案者と交渉を計ったが、遂に規定審議会で否決となったことは誠に残念である。

扱、本年の立法案提出件数は制定案271件、決議案70件と従来最多の記録であった。そこで地区内クラブの審議検討の効率を計るため、予め「規定審議会立法案に対するクラブとしての現実的な対応」という参考手引を作製し、併せて制定案266件について地区委員会としてのコメントを添え、賛成59件、賛成に非ざるもの207件の検討結果を決して強制示唆を与えるものでなく、あくまで参考として利用されるようにと各クラブに配布し、12月末、地区内クラブよりの賛否の検討結果を集計、中西地区クラブ代表議員に提出した。尚これに先立ち12月11日地区内クラブ規定・情報合同委員長会議を開催し、以上の提案趣旨説明、情報伝達に理解を求めた。又3月11日クラブ規定委員長会議を開催、続いて3月27日地区大会会長幹事懇談会に於て「1992年規定審議会の決定に関する報告」の説明を行った。

次に本年は当委員会の中に「卓話銀行」のセクションを設け、ロータリーに理解をお持ちの各界の有識者34名に講師を御依頼し、各クラブの卓話プログラムに活用せられるよう推奨したが、3月現在12名の講師、延べ21回という利用状況である。

～MEMO～

## 拡 大 部 門

担当パストガバナー 坂 東 宏 (吹田)

	アドバイザー	村 岡 秀 雄 (大 阪 東)
拡大委員会	委 員 長 (カウンセラー)	古 市 実 (大 阪 北)
	カウンセラー	池 田 幹 雄 (大 阪 南)
	”	水 間 義 雄 (大阪城東)
	委 員	浜 岡 正 典 (大阪西南)
	”	小 西 豊 和 (守 口)
	”	川 崎 寿 (大阪中央)
	”	浅 井 晴 雄 (大 阪 北 梅 田)
	”	杉 本 一 三 (八 尾)

本年度拡大方針として2RCの創設を目標に、かねて準備を推進していた大淀RC並に大阪北RCに積極的協力と早期実現を期すよう努力した結果、下記のように年度内目標を達成することが出来た。

### 1. 大阪北梅田RC

1992年1月20日大淀ロータリークラブのスポンサーにより、ザ・プラザホテルに於て会員62名で創立総会を開催し、地区内第73番目のクラブとなった。ガバナー特別代表佐伯 洋(大淀RC元会長)、国際ロータリー認証1992年2月17日。認証状伝達式同年5月11日 ザ・プラザホテルにて挙行。

例会日 月曜日12:30 プラザホテル

### 2. 大阪ちやまちRC

1992年1月27日大淀北ロータリークラブのスポンサーにより、新阪急ホテルに於て



会員62名で創立総会を開催し、地区内第74番目のクラブとなった。

ガバナー特別代表真崎貞夫(大阪北RC元会長)、国際ロータリー認証1992年2月20日。認証状伝達式同年5月25日新阪急ホテルにて挙行。

例会日 月曜日 12:30 新阪急ホテル

上記2RCの他現在検討中の拡大につき、次年度に送りとして大手前RCのスポンサーによる新クラブ増設と大正区地域に於ける新クラブの可能性につき努力されることを望んでいる。

最後に板東パストガバナー、村岡アドバイザーをはじめ、土井地区代表幹事・拡大カウンセラー地区委員・スポンサークラブ会長並に拡大委員・ガバナー特別代表の方々のご努力ご協力に感謝申し上げる次第である。

～MEMO～

# 職 業 奉 仕 部 門

担当パストガバナー 中 西 正 二 (大阪西)

## 職 業 奉 仕 委 員 会

委員長	北 村 巖 (大阪梅田)
委員	浅 沼 清太郎 (大 阪)
”	大 木 令 司 (茨 木)
”	大 谷 国 明 (大 阪 東)
”	松 本 進 (大 阪 南)
”	山 田 潤太郎 (大 阪)

### 1. 職業奉仕の本質についての認識

職業奉仕は、会員個人が職業倫理の高揚をめざして職務遂行することにより、社会に奉仕すること(I serve)で、R I・地区・クラブは会員のこの職業奉仕活動を鼓吹育成する任務(We serve)を負っている。

### 2. 本年度活動事項

#### (1) 卓 話

- 職業奉仕の意義（職業奉仕の新方針および職業宣言）
- 本年度地区活動計画である「違法駐車」

などにつき地区委員などによる卓話を実施した。

#### (2) 地区大会部門別懇談会を介しての鼓吹育成活動

- ① 綱領の解釈を介し職業奉仕の意義の解説をした。
- ② 本年は金融・証券業界などの不祥事をめぐり企業行動が厳しく批判されている。

そこで、松下電器産業(株)国際・法務企画担当部長満蘭郁夫氏の参加を得て「松下電



器の行動基準」の説明を受けた。

- ③ シール貼付などの方法による「めいわく駐車追放」運動の経過報告と引続いてこの運動を推進することを要請した。

(3) 「違法駐車」に対する取組み

今や経済成長と環境保護の調和は、排気ガスによる地球温暖化問題等あらゆる国の緊急課題とされ、本年6月1～12日にはブラジルで世界120ヶ国以上の国家元首級の地球サミットが開かれる。

目を当地区内に転ずると、道路交通の量的拡大を背景に東京・大阪などの大都市圏では年々自動車などの排気ガスによる大気汚染、違法駐車（大阪は東京に比し3倍の密度）による交通渋滞や事故が多発し、市民生活や業務活動を阻害しており、今や国際空港開港をひかえた国際都市大阪にとり極めて憂慮すべき事態になっている。

当地区では、1990～91年度には地区・クラブレベルで会員の職業倫理の高揚を鼓舞育成する活動の1つとして「めいわく駐車追放」キャンペーンを実施し、地区大会は地球環境を守る運動の一環としてマイカー通勤の自粛などを決議（決議第3号）している。

本年度は前年度に引続き次の活動を実施した。

- ① 1991年7月22日、全会員に対し下記問1～5の「めいわく駐車追放」に向けての具体的実践活動に関するアンケート調査実施。

問1 「めいわく駐車追放モデル事業所」の宣言について

問2 「めいわく駐車追放協力シール」を自動車に貼付することについて

問3 「マイカー通勤業務車両持ち帰りの自粛シール」の自動車への貼付について

問4 「めいわく駐車追放のための広報・啓発活動」への参加について

問5 「大阪市駐車対策推進基金」への寄付について

- ② 1991年8月24日、クラブ職業奉仕委員長会議を開催し、上記アンケート説明を行う。

- ③ 上記アンケート調査結果。

全クラブから約6割の回答が寄せられ、この結果、問1～5について過半数の賛

成があった。

④ 1992年2月

- a. 「めいわく駐車追放協力シール」を会員1人当たり3枚を目標に、ロータリアンの使用する車ないしその所属する事務所の業務車に貼付する活動
- b. ロータリアンの所属する違法駐車追放の啓発に適切な事業所を「めいわく駐車追放モデル事業所」と宣言する活動を推進した。

この活動は2月15日日本経済新聞、2月17日産経新聞紙上にシールの写真入で報道された。

シール貼付による「めいわく駐車追放」キャンペーン活動は、原価100円のシールを1枚分に限り1,000円で買受け、余剰利益を大阪市の駐車対策推進基金に寄付することで推進したところ、地区内ロータリアンの大半が賛意を表し、これに協力している。

以上

～MEMO～



# 社会奉仕部門

担当バストガバナー 松本良諄(大阪東)

## 社会奉仕委員会

委員長	新津敬直(大阪西)	委員	芝盛久(箕面中央)
〃	吉山公(大阪中央)	〃	新堂庄二(大阪西)
〃	亀井龍彦(大阪阿倍野)	〃	堀訓也(大阪心齋橋)
〃	福田守(大阪阪和)	〃	浅野宜春(大阪なにわ)
〃	木下久則(交野)		

### 1. 高齢者問題

奉仕活動のマニュアル・老人収容施設・高齢者雇用の際の政府からの助成金・シルバー人材センターなどの紹介。

美しく老いる為の心身の条件をパンフレットで説明し、クラブ内および地域社会への指導をお願いする。

高齢者作文 — 大阪市教育委員会と共催で市内38クラブが募集し審査、9月21日に表彰し、すでに12回目にあたり過去最高の401通の応募があった。

海遊館招待 — 70才以上の高齢者をロータリアンが招待、行動を共にする。4月9日木曜日343名の参加を得て、実施され大変喜ばれた。

### 2. 地域社会への社会奉仕活動

テントリー内の全養護施設を紹介し、各RCの奉仕活動の資料とした。

第8回身障児等白浜招待旅行 — 平成3年11月17日折からの晴天に恵まれ、招待児127名、RAC28名、交換学生12名、米山奨学生20名、職員37名、ロータリアン149名、本部委員29名、総勢404名が参加し、9時02分臨時特急くろしおで招

待児童の歓声を乗せ11時14分白浜に到着。サファリパーク入口では従業員心尽しのペンギンのヌイグルミをもらい、西日本にっしょくのご馳走に舌鼓みを打ち、オルカ・ラッコのショーを見て、猛獣の群たわむれているサファリパークをめぐり、18時43分無事天王寺に着き、招待児の大喜びとロータリアン、RAC、米山奨学生、交換学生が身をもって奉仕活動を体験され、実りある一日でした。

当日の記録アルバムは参加者全員にあたる様に配慮した。

### 3. 社会奉仕活動事例集

各RCよりの熱心な御回答により、各分野での良かった点、改良点、計画に分類し、1992年5月9日の地区協議会に配布した。

### 4. 自殺防止センター

第1回各RC委員長会議において、センター西原女史に卓話をお願いした。8RC（八尾、大阪西、城南、豊中千里、阪和、大阪北、東大阪、守口）が卓話に取り上げ、センターへの寄附をされ、2RC（心斎橋、本町）が寄附をされ、センターに感謝される。

### 5. 次年度への伝達事項

海遊館行事は前年度のごとく、三世代交流のS&Cに変更して欲しい。

## [ 地 域 対 策 室 ]

主宰者	新 津 敬 直 (大阪西)
委員	平 川 恵 一 (大阪北)
”	岡 本 克持郎 (大阪城南)
”	谷 口 勉 (大阪難波)
”	村 岡 大 輔 (大阪西)

### I 第1回地域対策合同委員長会議

社会奉仕、職業奉仕、青少年奉仕、各部門の委員長、又は担当者が出席し、278名が



熱心に勉強し、第1部ではビデオ「太陽の家」を上映し、講師京都太陽の家事業本部長吉永栄治氏の講演「障害者の自立・太陽の家での実証」

第2部では講師京都精華大学教授樋田劭氏の講演「共生への視点から環境を見る」

第3部では戸田パストガバナーがモデレーターになり、各部門委員長の発言に次いで、フロアからの質問が有り、実りある会議でありました。

## II 第2回地域対策合同委員長会議

前回と同じ出席者で287名が参加した。第1部では大阪市高齢者対策室長伊藤光行氏「お年寄りに住みよい街づくりを進めるために — 北米の高齢者福祉に学ぶべきもの」の講演。

第2部、成安女子高等学校教諭横田哲氏の「ひとり暮らし老人を訪ね歩いて25年」の講演。

第3部、フォーラムテーマ「高齢者と共に生きる」。戸田パストガバナーをモデレーターとして開かれ、全員が身近な問題なので、前回に増し、非常に盛り上ったフォーラムとなりました。

## III 次年度への伝達事項（2回の会議の成果を生かし）

地域対策室がなくなるが、2回にわたる会議の成果をふまえ、障害者及び高齢者との共生を考え、実施する。

GSAC ( grand senior active club ) を作る。  
グランド・シニア・アクティブ・クラブ

2660地区では72クラブ全会員の中で、70才以上在席66クラブ、80才以上在席44クラブ、90才以上在席9クラブ有り、70才以上で結成し、OBも加え、特に世界一高齢化が急速に進んでいる日本で、まずロータリアン同志が元気な者が弱い人を見る。お互いに知識を交流し、美しく楽しく老いることを目的とする。

## ボランティア活動委員会

委員長 小山隆三(大阪阪南)

委員 四碓行雄(大阪阪南)

” 寺井種伯(大阪天満橋)

” 北浦信行(高槻東)

” 杉本久仁一(八尾中)

### 1. 平成4年1月20日 担当委員会開催 於 天王寺都ホテル

出席者 松本良諄P.G.、杉本久仁一、四碓行雄、北浦信行、小山隆三、

#### 検討内容

- ① 地区大会に於けるガバナー表彰に関し、当委員会より地区内のロータリアン個人としてボランティア活動に努力された2名の候補者推せんについて検討した。
- ② R.I.より次年度は当委員会がクラブの組織上職業奉仕部門に属するとの連絡があり、これに関し山中ガバナーノミニーの国際協議会からの帰国を待って検討することとするも、これに関し3月19日地区内各クラブのボランティア活動委員会担当者連絡会議を開催することとする。

### 2. クラブボランティア活動委員会担当者連絡会議開催

平成4年3月19日 於 葉業年金会館

出席者 菅生ガバナー、大森ガバナーノミニー、松本担当パストガバナー、新津地区社会奉仕委員長、当委員会委員全員、各クラブ当委員会担当者、ゲストスピーカー(大阪市社会福祉協議会ボランティアセンター、伊関珠恵女史)。

松本担当パストガバナーより前記山中ガバナーノミニーの報告を受けられて、R Iでは次年度は当委員会は職業奉仕部門に属することが決定された。又、伊関女史より大阪市に於けるボランティア活動の行政面からの現況について説明があった。



## 環 境 保 全 委 員 会

委員長 岡 部 次 郎 (箕 面)	委員 室 木 啓 一 (池田くれは)
委員 遠 藤 渉 (大 阪)	” 浜 谷 利 一 (東 大 阪)
” 藤 江 正 謹 (大阪阪和)	” 北 野 武 治 (門 真)
” 南 克 昌 (大阪南西)	” 近 藤 雅 臣 (千 里)

委員会発足2年目の現年度は、環境問題についての「意識の昂揚」から「身近な実践」に重点を移すことを目標とし、各クラブにもロータリーの周辺をも含めて具体的活動をお願いした。どのような活動をするかは、それぞれのクラブの状況に応じて自主的に決定いただくことが当委員会の基本方針である。委員会としては、地区内各クラブがどんな活動をされたか、何を計画しておられるかの情報を提供するとともに、今後の活動に役立てていただける研修・見学会を企画した。

### 活 動 報 告

#### 1. 第1回委員会(1991.6.17)

年度活動方針の検討。アンケートについて打合せ。

#### 2. アンケート調査発送(1991.8)

設問①前年度はどのような活動をされましたか。②本年度の計画は。③ご意見・ご提言を。

#### 3. アンケート調査集約(1991.9)

#### 4. 第2回委員会(1991.10.7)

アンケート集約をふまえた上、クラブ環境保全委員長会議開催について協議。

#### 5. クラブ環境保全委員長会議(1991.11.11)

「水質問題」「ごみ問題」について専門委員によるショートスピーチ。アンケート集約による地区内クラブの活動状況伝達。事例発表。

#### 6. 第3回委員会(1992.3.3)

4月実施の研修・見学会の打合せ。

7. 「廃棄物処理に関する研修・見学会」(1992. 4. 7)

大阪市環境事業局の全面的協力を得て、大阪市広報船「水都」より北港埋立処分地視察。続いて住之江焼却工場見学。

8. 第4回委員会(1992. 6月予定)

次年度の委員会活動についての検討。

地域対策合同委員長会議にては環境問題も取り上げられた。

次年度も基本的には本年度の方針を継続し、研修・見学会については、「水問題」に組みたいと考えている。

～MEMO～



# 青少年奉仕部門

担当パストガバナー 戸田 孝(八尾)

## 青少年活動委員会

委員長	西 正中 (大阪城北)
委員	近 藤 力 (東大阪中)
”	高 萩 弥太郎 (大阪柏原)
”	北 田 他実夫 (高槻東)
”	桂 知 良 (大阪城東)
”	対 馬 祥 全 (茨木東)
”	露 口 佳 彦 (大阪西南)

### I 少年少女ニコニコキャンプ

小学校5・6年生を中心に4年生と中学1年生も対象に、少年少女ニコニコキャンプを91年8月10～12日の2泊3日、能勢の大阪府立総合青少年野外活動センターで開催、108名のこどもたちが家や学校を離れて、日常と違う生活を体験しました。

このキャンプの目的は、団体生活の体験を通じて、集団の和や友だちをつくること、また自然と親しむことにあります。

オリエンテーションが終わって、チームごとの打ち合わせをするグループタイムでは、こどもたちはもう仲間。天気が心配されましたが晴れ上って、夜のプログラム「星の観察」では流れ星に歓声があがります。テントの中で迎える初めての夜は、興奮からか遅くまで話し合っていたようです。

次の日には2組に分かれて、午前と午後にアーチェリーと植物観察ハイクを行ないました。アーチェリーは初体験、ハイクでは自然の樹木をよく観察する。昼食は自分たちで作ったカレーライス。飯盒のご飯は初体験の子が多く、焦がした班が多かったが、う



まく炊いた班も。カレーはどこも水が多く「カレースープ」といったところ、これも良い思い出になるでしょう。2日目の夜はハイライトのキャンプファイア、燃え上がる火を囲んで各チームが歌やゲームなどを出して楽しみました。

最後の日には焼板にペインティングをして記念品を作り、思い出の品としました。すべての後片付けをきちんと終えて、2泊2日のキャンプを締めくくりましたが、楽しくて面白かったという感想がほとんどでした。

このキャンプのもう一つの目的は、青年に各班のリーダーを務めてもらって指導者研修の実習をしてもらうこと。参加してくれた青年リーダーは22名（IAC 5名、RAC 3名、交換学生2名、米山奨学生1名、RYLA参加青年11名）、皆んなよく頑張っていて貴重な体験となったようです。

## II ライラ（青少年指導者養成セミナー）

### 1. 山のライラ ホストクラブ 高槻東ロータリクラブ

91年9月21～23日の2泊3日、能勢の大阪府立青少年総合野外活動センターにおいて、爽やかな秋空の中で開催しました。

今回のライラ参加者は、青少年128名、ロータリアン163名、計291名と、かつてない多数の参加者となり、3日間を終了した青少年は114名（男子63名、女子51名）、ロータリアン33名、多人数のために宿舎を本館と第三キャンプ場にする等、今までにない施設利用となりましたが、センターの吉永所長をはじめ、職員、カウンセラーの方々の熱心な指導のもとにプログラムも順調に進めることができました。

今回は「チームとポジション」をテーマとし、特別講師に関西学院アメリカンフットボールの元監督で全国制覇七回の実績を持つ武田建社会学部教授（前学長）の講演、その他青少年とロータリアンとが和気あいあいの中で共同のカレーライスづくりをした野外料理実演や、ロータリアン組が番狂わせの優勝をしたオリエンテーリング実習等、楽しみながらのセミナーとなりました。

夜のひとときは、第1日目カラオケ合戦、第2日目はキャンプファイヤー、キャンドルトーチサービス等、思い出に残るイベントがあり、中でもバンド「チャーリーズ」の演奏するディスコの曲に参加者全員が踊り出し、アンコールの連続で夜の更けるの



も忘れる乗りようで、関係者一同大あわてする一幕のディスコタイム等が催されました。

明けて最終日の午前中、各班に分かれた青少年のグループ発表では、彼等のセミナーにおける成果が表われていました。

2660地区の57クラブから、435名の参加登録があり、ロータリアンの青少年育成の関心の深さと若者の熱意、そして高槻東ロータリクラブの献身的な努力が実り、青少年指導者養成セミナーは成功裡に終了しました。

## 2. 海のライラ ホストクラブ 大阪城東ロータリークラブ

92年5月2日～4日の2泊3日、岬町淡輪の大阪府立青少年海洋センターで実施し、150名を超える青少年が参加して、熱心にプログラムに取り組みました。

### Ⅲ 反省と次年度への課題

本年度の活動計画の中で、近隣4地区青少年活動委員長会議の開催を予定していましたが実施できませんでした。またライラマニュアルの改訂は作業が遅れていますので、次年度の課題として実行することが求められます。

## ローターアクト委員会

委員長	目 幸 等 僊 (大阪天満橋)
副委員長	北 村 英 一 (吹 田)
委 員	北 方 龍 一 (大 阪 西)
”	小 西 眞 明 (寝 屋 川)
”	山 内 尚 隆 (大 阪 北)
”	伊 藤 七 郎 (大 阪 東)

### 1. 活動報告

- ① 地区内で提唱の芽生えはあったが、結成増加は見られなかった。しかし各RACに

於ける活動の充実と活性化は一層強化され、特に各RAC間の親密度は重なる交流を通じて深まっている。

- ② 提唱クラブとの連繋がより密になり、地区公式行事、ゾーン合同行事等にロータリアンの積極的参加が増え、地区社会奉仕委員会、米山奨学生、留学生との交流会合等に参加し、奉仕活動を通じて一層の相互理解を深めた。
- ③ 海外研修は本年度は旧に復し、香港・シンガポールを訪問。彼我RACの交流は計画以上の成功を収め、互に感動的な体験と研修に終始した。

## 2. 次年度への伝達事項

- ① 3～4 R Cの提唱の動きがあり、地区委員が積極的に結成のお手伝をしたい。
- ② 未提唱クラブに対して、創立10. 15. 20周年等の節目に提唱を要請し、且ガバナー公式訪問の際、RACガイドブック、パンフレット等を持参贈呈し、提唱を勧めて貰う。
- ③ RAC活動の原動力である会員増強のため、ロータリアンの子弟、経営参画関連企業よりの参加入会を呼びかけ、一層の活性化と充実を図る。
- ④ 1993年度の海外研修は、東南アジア地域とし、訪問地のガバナー、RACと早期より連絡をとり、コンタクトを綿密にとる。

～MEMO～



1991 ~ '92 年度 国際ロータリー第 2660 地区ロータアクト  
活 動 報 告 書

開 催 日			行 事	主催・ホスト	
91年	7月	11日	木	前期提唱RCロータアクト正副委員長会議	地区
		28日	日	地区RAC研修会 (リーダーシップフォーラム・新人オリエンテーション)	地区
	8月	10~12日	土~月	地区ニコニコキャンプ・リーダー奉仕	守口RAC
	9月	1日	日	第1回海外研修オリエンテーション(班会議)	地区・青少年活動委員会
		8日	日	全国統一RACの日(米山奨学生)	大阪RAC
		29日	日	第2回海外研修オリエンテーション(班会議)	地区
	10月	13日	日	第3回海外研修オリエンテーション(班会議)	地区
	10/30~11/4		水~月	海外研修(シンガポール・香港)	地区
	11月			米山奨学生学友会交流会	地区・米山奨学会
		17日	日	リーダーシップフォーラム	大阪淀川RAC
17日		祝	身体障害児等恵まれない子供たちへの白浜招待旅行	地区・社会奉仕委員会	
12月	7日	土	海外研修解団式(記録提出)	地区	
92年	1月	16日	木	後期提唱RCロータアクト正副委員長会議	地区
	2月	23日	日	RC・RAジョイントパーティー	大阪天満橋RAC
	3月	14・15日	土・日	アジア第1・3ゾーン年次研修会 全国地区ロータアクト委員長会議	第267地区
		28日	土	第2660地区RI年次大会参加(役員・各会長)	地区
	5月	17日	日	第2660地区ロータアクト年次大会	大阪北RAC
	6月	14日	日	新旧理事役員会	高槻RAC

地区ロータアクト委員会 随時、地区ロータアクト役員会 3月1回  
ゾーン別クラブ会長会 毎月1回

大 阪 ゾ ー ン 行 事		北 大 阪 ゾ ー ン 行 事	
91. 9/29 (日)	ソフトボール大会	91. 12/8 (日)	クリスマスパーティ
92. 2/16 (日)	献血PART 1	92. 4/12 (日)	スポーツ大会
92. 3/ 8 (日)	ウォークラリー		
92. 6/28 (日)	献血PART 2		

## インターアクト委員会

委員長 和田 健 (大阪 阪南)

委員 飯原 弘章 (大阪 住吉)

” 中島 孝夫 (八尾)

” 得田 栄蔵 (大阪阿倍野)

” 岡部 州雅 (大阪城南)

” 小西 欣一 (大阪南)

### 1. 海外研修 (8月23日~8月27日)

行先：シンガポール

参加：地区内全インターアクトクラブ。部員76名、顧問16名、ロータリアン10名。

現地R I 3310 地区インターアクトクラブと交流した。

### 2. 年次大会 (10月27日)

四天王寺学園和光館に於いて、ガバナー・パストガバナー・ガバナーノミニーはじめ多数のロータリアンの臨席をえて開催。「ただのケチと違うねん」を掲げてゴミの減量化を訴えた。

### 3. 行事分担の変更

従来、インターアクトの地区行事は、設立年度順の持廻りで決まる当番校が、その年度内の全ての行事をホストしていたが、クラブ数が増えてきたことでもあり、次年度以降、行事ごとにホスト校を決めることとなった。

### 4. 次年度委員長へのお願い

今年度目標で果せなかった新クラブの設立を継続して、目標としていただきたい。



## 国際奉仕部門

担当パストガバナー 坂 東 宏(吹 田)

### 世界社会奉仕委員会

委員長	堀 内 顕	(八尾東)
委員	西 原 漸	(高槻東)
”	藤 井 宏 一	(大阪西北)
”	吉 川 謹 司	(東大阪東)
”	横 山 守 雄	(大阪中央)
”	山 中 文 和	(大阪南)

世界社会奉仕は、現在の社会状況の中で、極めて重要かつ有益なロータリー奉仕と親善平和に貢献する活動であるとの確信に立って、委員一同協力分担し、各クラブ委員長と連携を保ちながら、既定の方針と活動計画にもとづいて活動を推進し、ほぼ完了致しました。

特に、地区WCSレベルによるプロジェクトに関しては、①バングラディッシュ・3件で490万円。②インド・1件で75万円。③南米ブラジル・1件で50万円。④アフリカ・モザンビーク・1件で300万円。⑤緊急災害援助にフィリピン・ピナッポ被災者救援と再建のために地区RCからの寄附金を合わせて、530万円のほかレイテ台風被災に10万円の2件の援助活動を行いました。その際注意した点は、○援助が単なる施しにならないこと。○確かな収支窓口が現地に確保できること。○現地で必要な物資の調達ができること。○現地の人々の自助努力に貢献するものであることを確認することでした。そのために資金をロータリアンが持参したり、視察確認をいたしました。

本年度、特記すべきことは、第三世界研修視察の旅ができたことでした。担当パストガバナー坂東宏氏をはじめとして6名の者達が参加し、インド・バングラディッシュ・タイ国を8日間にわたって、過去のWCS援助地のプロジェクトを視察しました。目で見なければ

ば感じ得ない多くの学習をするだけでなく、現地の人々の喜ぶ姿を見、援助の実績を確かめ、心を熱くして帰って来たことです。一つの感想は、地区プロジェクトの利点が大きく広く効果を上げている点でした。それは、第三世界の人々の必要が大きいためからでした。

来年度に向かっては、①1GF単位のブロックごとに委員長会議を開き、各クラブの協力による結集された援助を組立てることができたらよりベターではないか、②現地視察の旅を計画実行することは奉仕の意義の自覚をもっと深めることになるので、一人でも多く参加するようにすすめること。③未実施クラブには、特に協力を願って分担金を必ず地区プロジェクトに応援していただき、全クラブが世界社会奉仕にロータリアンとして参加をすること。

各ロータリアンは第三世界に対する援助活動には非常に高い関心がありますので、世界社会奉仕活動の一層の充実を計らなければならないように思います。

惜しみないご協力を感謝しつつ。

## 青少年交換委員会

委員長	八木 頼夫 (大阪)	委員	三宅 一嘉 (大阪東南)
委員	入江 和夫 (高槻)	〃	毛利 哲三 (大阪西南)
〃	中 一 皓 (枚方くずは)	〃	村上 白士 (大阪城北)
〃	泉 潔 (豊中-大阪国際空港)	〃	林 輝久 (大阪東)

### I 主な年間活動

1. 交換学生派遣受け入れに関する接渉実務。
2. 派遣及び受け入れ交換学生オリエンテーション開催。
3. 交換学生歓送迎会。
4. ホストクラブ・ホストファミリーのオリエンテーション開催。
5. 来阪学生に就いてホストファミリーよりの卒直的な意見の聴取。



6. 来日学生を囲む新年会を REX (OB) 学生と共に開催し、来日学生の 4 ヶ月余の間における日本語能力向上度合を試聴する。
7. 派遣された日本人学生へのアンケート調査 (待遇及び小遣い等に就いて)。
8. 交換国へ派遣される日本人学生の為に、交換国地区委員長並びに其の関係者へのアンケート調査。
9. 来日学生が通学する高等学校選拓の検討を続行する。
10. 交換学生の感想文発行、並びに学生受け入れ高校、ホストクラブ、ホストファミリーへの感謝状贈呈及び帰国学生への青少年交換留学ディプロマ授与。
11. 広島研修旅行、禅寺一日研修等を計画。
12. 毎月 1 回来日中の学生本人、ホストファミリー、クラブカウンセラーよりの報告を求め、実情の把握に努める。
13. 国際大会前の青少年交換役員会議に自費参加し、諸問題について討議すると共に各国の委員との親交を深め、今後の交換の円滑化を図る。
  - 今年度の長期、短期交換の状況は別表の通り。
  - 学生受け入れホストクラブへは、従来通り年間 100 万円を補助している。
  - 派遣地区よりのアンケートによると、日本人学生は好評を得ている。一件だけ問題発生。
  - 来日学生通学高校のアンケートによると、来日当初日本語不可能な外人学生を学校のクラブ活動は別として、その儘日本語の授業に参加させる事には問題がある。
  - 青少年交換に際して問題となるのは、ホストファミリー、来日学生通学高校の選択、受け入れ学生の性格品位等が主なものである。
  - 最近、米国からの情報によると、日本人交換学生の受け入れを減らすようである。又、他の先進国でも交換来日の希望者の見当らぬことがある。反面ブラジル・フィリピン・トルコ・メキシコ等より引合いが多いが、当方に希望者がいない。



## I] 長期派遣学生 (1991年~1992年)

No.	氏 名	性別	年齢	ホ ス ト R C	地区	国 名
	スポンサーRC			住 所		
1	丸 尾 道 恵	女	16	Mount Albert	9910	ニュージーランド
	四 條 暲 R C			〒575 四條暲市清滝中町19-28		
2	村 上 香 織	女	16	Lake Oswego	5100	U S A
	八尾中央 R C			〒581 八尾市太田5-187-5		
3	中 和 美	女	18	Wels Burg	1910/1920	オーストリア
	枚方くずはRC			〒576 交野市幾野3-2-12		
4	山 崎 博 美	女	17	Hameln	1800/1900/1930	ド イ ツ
	大阪東南 R C			〒545 大阪市阿倍野区阪南町2-19-10		
5	村 木 雅 則	男	17	Faribault	5950/5960	U S A
	吹田西 R C			〒564 吹田市江の木町12-5-314		
6	和 三 正 秀	男	17	Heinsberg	1800/1900	ド イ ツ
	高 槻 西 R C			〒569 高槻市城西町4-13		
7	川 口 亮	男	15	Kingston-Frontenac	7040	カ ナ ダ
	東大阪東 R C			〒579 東大阪市上石切1-7-25 石切グランドハイム105号室		
8	表 愛 奈	女	15	Boerne	5840	U S A
	大阪北 R C			〒665 宝塚市雲雀ヶ丘1-4-25		
9	廣 瀬 さや夏	女	16	San Saba	5840	U S A
	大阪西南 R C			〒558 大阪市住吉区長居東3-7-16		
10	佐 藤 真理子	女	16	Albina	5100	U S A
	大阪鶴見 R C			〒538 大阪市鶴見区放出東3-9-6		

(注) No.1, 2. は、1991年3月~1992年3月、No.4~9は、1991年8月~1992年8月、No.10は、1992年4月~1993年3月

## II] 長期受入学生 (1991年~1992年)

No.	氏 名	性別	年齢	スポンサーRC	地区	国 名
				ホ ス ト R C		
1	Gyotoku, Lidia	女	18	Suzano-Sao Paulo 東大阪東	4610	ブラジル
2	Hughes, Travers Semour	男	17	Auckland North Harbour 四 條 暲	9910	ニュージーランド
3	Allen, Colby	男	18	Kerrville 大 阪 北	5840	U S A
4	Klind, Jacqueline Lia	女	18	Payette Lakes McCall 高 槻 西	5400	U S A
5	Pfirmann, Marten Sylvester	男	16	Emmerich-Rees 大 阪 東 南	1870	ド イ ツ
6	Whalen, Ryan	男	16	Keizer 八 尾 中	5100	U S A
7	Moniqui, Marie Fleurette Karine	女	17	Valleyfield 大 阪 東 南	7040	カ ナ ダ
8	Windhab, Ralf	男	19	Wels-Burg 枚方くずは	1920	オーストリア
9	Lueck, Jennifer	女	16	Konsha 吹田江坂	6270	U S A
10	Bender Marie Tracey	女	16	Tavistock 大 阪	7080	カ ナ ダ
11	Gandrud, Julia Helen	女	16	St. Louis Park 吹田西	5950/5960	U S A
12	Baldwin, Toni Elizabeth	女	16	One Tree Hill 東大阪中	9910	ニュージーランド
13	Kawauchi Fabio Masao	男	16	Sao Paulo Sudeste 大 阪 東	4610	ブラジル

(注) No.1, 2. は、1991年1月~1992年1月。No.3~11は、1991年8月~1992年7月。No.12は、1992年1月~1993年1月。No.13は、1992年4月~1993年3月。



Ⅲ] 短期派遣学生 (1991年～1992年)

No.	氏 名		性別	年齢	ホ ス ト R C		地区	国 名
	スポンサーRC				住 所			
1	松 尾 寛 子		女	20	Finchley		1130	イギリス
	大阪北淀RC				〒532 大阪市淀川区十三東3-7-27			
2	西 尾 佳 容		女	22	Rilry		1220	イギリス
	箕 面 R C				〒562 箕面市桜6-3-21			
3	鈴 木 英 子		女	20	Pwllheli		1180	イギリス
	八尾中央RC				〒560 豊中市緑ヶ丘3-20-5			
4	芦 谷 京 子		女	19	Alsager		1050	イギリス
	守 口 R C				〒572 寝屋川市池田西町15-6			
5	折 野 奈 緒 子		女	19	Alsager		1050	イギリス
	枚方くずはRC				〒573 枚方市楠葉朝日2-13-6			
6	田 島 利 江 子		女	22	Audley		1210	イギリス
	大 阪 南 R C				〒567 神戸市東灘区住吉町5-9-25			
7	金 森 由 朗		男	18	Dingwall		1010	イギリス
	枚方くずはRC				〒573 枚方市渚元町10-20			
8	小 杉 世		女	21			1010/1290	イギリス
	豊 中 R C				〒666 川西市鼓ヶ滝1-13-33			

(注) 出発は何れも1991年7月

Ⅳ] 短期受入学生 (1991年～1992年)

No.	氏 名	性別	年齢	スポンサーRC		地区	国 名
				ホ ス ト R C			
1	Ince, Shaun	男	18	Dingwall 枚方くずは		1010	イギリス
2	Nayar, Priti	女	18	Newcastle-under-Lyme 大阪阿倍野		1210	イギリス
3	Broich, Mary T	女	16	Minneapolis City of Lakes 大 阪 東 南		5950	アメリカ

(注) 受入は、1991年7月



## 国際交流・平和委員会

委員長	野村浩司(大阪港)
委員	松本一夫(大阪中央)
”	加納繁美(大阪梅田)
”	三好秀弘(八尾中央)
”	小山雄三(大阪東)
”	玉井三貴男(大阪東淀)
”	鈴木幾太郎(大阪難波)

### (1) 第1回 国際交流・平和委員会開催

1991年6月10日(金) (ガバナーノミニース事務所)

#### ① 姉妹クラブの交流の現況

本年度は特に姉妹クラブ間において、青少年及び家族の交換・国際会議が行なわれているかをくわしく報告を各クラブにアンケートを取る事等。

#### ② 国際年次大会(1992年6月14日～17日)米国のフロリダ州オーランドでの大会参加をアンケート等で各クラブに積極的にアピールをする事等。

#### ③ 平和フォーラムは1992年2月の世界理解月間に行う。

#### ④ 友情交換について機会を通して各クラブに理解をしていただき、来るべき将来の現実に努力する。

#### ⑤ 世界親睦についても1人でも多くの参加者が出て、広く世界のロータリアンと交流をし、楽しむよう働きかける。

### (2) 海外クラブとの姉妹クラブ提携についてのアンケート 1991年6月5日付にて発送。

地区各クラブと海外クラブとの姉妹・友好クラブとの具体的な交流についての調査及びWCS・国際会議・クラブ単位での青少年交換等の共同事業。国際大会。ロータリーの友情交換についての意見。ロータリアンの世界親睦活動について等。アンケート回答は6月29日までとする。

### (3) 1991年7月18日 葉業年金会館601号室にて各クラブ国際奉仕・国際交流・平和委



員長会議。

① オーランド国際大会参加への各参加委員を通じて、クラブ会員への積極呼びかけと参加への積極アピールを行う。

② 姉妹・友好クラブ締結について。

③ 世界親睦・友情交換についての説明。

(4) ガバナー月信 10月号にて姉妹クラブ・友好クラブとの具体的交流状況と内容、1991年6月のメキシコ国際年次大会の当地区からの参加者人数（会員及家族を含む）を紹介。

(5) 1991年11月27日付にて 1990年・1991年度に当地区各クラブで開催された平和フォーラムのレポートコピーをR・I本部に発送。

(6) 第2回地区国際交流・平和委員会会議

1991年12月20日 ガバナー事務所

〈テーマ〉

① 国際大会について（1992年6月14日～17日米国オーランド）。

② 1992年2月中における“平和フォーラム”について。

③ 社会主義国におけるロータリー活動について等、会議後「一休」において親睦会。

(7) 1992年1月

米国オーランド国際大会行アンケート発送。1992年2月29日回集。72クラブ中69クラブが回答。29日付で参加者予定、家族を含む当地区からは約120名。

(8) 1992年3月13日 ガバナー事務所

第3回 地区国際交流・平和委員会開催。

㉞ 国際大会行きアンケートについて。

㉟ 残された今期の活動について。

(9) 1992年5月14日

米国オーランド国際大会行きオリエンテーション開催予定・参加者対象、葉業年金会館。

# ロータリー財団部門

担当パストガバナー 古田 敬三 (大阪)

## ロータリー財団委員会

委員長	古田 敬三 (大阪)
委員	名張 隆政 (吹田)
〃	細江 重 (大阪東淀)
〃	田中 穰二 (大阪西南)
〃	仲 芳樹 (吹田)

### 1. 第1回委員会 (1991. 5. 9)

- 1) 1991～92年度主な行事委員会スケジュール。
- 2) 一般寄付1991年度3月末現在実績報告。
- 3) 一般寄付達成予定額について。
- 4) 学友会(PSC)の在り方について。
- 5) 一般寄付資金の活用について。
- 6) 1992～93年度から「奨学金委員会」を「国際親善財団奨学金委員会」とする。

### 2. 第2回委員会 (1991. 8. 21)

- 1) 地区財団委員長より第1第3ゾーン研究会報告。
- 2) 財団増進委員長より91年7月から%順位廃止の報告。
- 3) 財団奨学金委員長より財団奨学金選考結果報告。
- 4) GSE委員長よりノースカロライナー派遣チーム帰国の報告。
- 5) 財団学友委員会より帰国者歓迎会開催予定(8月24日)報告。
- 6) 第1回クラブロータリー財団委員長会議(9月7日)開催準備。



### 3. 第3回委員会 (1991. 10. 25)

- 1) ロータリー財団創立75周年祝賀の件。各クラブの自主性に任す。
- 2) 次年度(1992年度)地区協議会討論リーダーは田中(稷)財団増進委員長に依頼。
- 3) GSE受入(ノースカロライナ7690地区)準備(92年3月)。
- 4) 表彰(功労者、特別功労者、地区表彰)。
- 5) 第2回クラブロータリー財団委員長会議(12月21日)開催準備。

### 4. 第4回委員会 (1991. 12. 21)

- 1) ロータリー地域財団セミナー(12月5日)報告。
- 2) 1993～94年度褒賞枠プログラム。  
1994～95年度シェアシステムプログラム。
- 3) 1992年春GSE受入(ノースカロライナ7690地区)。
- 4) 1993年度GSE派遣受入(ネブラスカ5650地区)。

## 財団奨学金委員会

委員長	名張隆政	(吹田)	委員	西原明	(大阪心斎橋)
委員	大川進一郎	(大東)	〃	泉亮	(四条畷)
〃	塩川二郎	(千里)	〃	山村幸明	(吹田西)
〃	大野真義	(高槻)	〃	小野典郎	(大阪阿倍野)

### 1. 本年度の活動

- ① 1991年8月24日(土) 1990～91年度奨学生婦国歓迎会を大阪YMCAにて開催、約半数(その他は未帰国)の出席者がそれぞれ体験報告を行い盛会であった(学友委員会と共催)。また留学中の状況報告アンケートを提出させた。
- ② 9月1日(土) 新年度地区財団奨学金委員会を薬業年金会館にて開催、新年度活動方



針の検討を行い、同日開催の第1回クラブ財団委員長会議の席上、1992～93年度奨学金受領予定者（地区選抜者）の発表及び1993～94年度奨学金選考要領の概要を説明。

- ③ 10月2日(土) 1992～93年度奨学金受領正候補及び推薦クラブ顧問ロータリアンに対する第1回オリエンテーションを大阪YMCAにて開催、財団の活動状況、奨学生の意義、奨学金受領手続き等の説明、併せ西原委員による「宗教問題」についての講話を実施。
- ④ 12月21日(土)第2回財団奨学金委員会を葉業年金会館にて開催、1993～94年度財団奨学金受領者選考試験要領、日程等を検討、同日開催の第2回クラブ財団委員長会議の席上、詳細なる申請手続き、選考試験要領を説明。
  - a. 各クラブでの申請書受付締め切り 1992年4月末
  - b. 各クラブよりガバナー事務所への送付期限 5月25日
  - c. 第一次選考試験（翻訳、小論文、会話） 6月13日
  - d. 第二次選考試験（面接）及び判定 6月20日
  - e. 地区確認申請書RF提出 7月末予定
- ⑤ 1992年1月16日付をもって1993～94年度奨学金褒賞枠は23名に決定のRF書簡到着。
- ⑥ RFより1992～93年度奨学金受領承諾書及び説明キッドが順次正候補者に送達。
- ⑦ 3月7日(土) 第2回オリエンテーションを大阪YMCAにて開催、手続き進行状況の報告、質疑応答併せてPSC会長岡本悦二君による「留学中の健康管理」の講話を実施。

## 2. 残余期間の活動予定

- ① 5月30日(土) ガバナー事務所に於いて試験問題及び試験実施要領について、2640地区と合同委員会議。
- ② 同日ロイヤルホテルに於いて第3回オリエンテーション併せて「食事マナー」の講話、引き続き歓送会を開催予定。
- ③ 6月13日(土) 新阪急ビル12Fに於いて 第一次選考試験
- ④ 6月20日(土) 同所に於いて 第二次選考試験



- ⑤ 正候補者23名、補欠5名を選出、顧問ロータリアンを決め7月末までに地区確認申請書を作成の上RFに送達予定。

3. 本年度受け入れ財団奨学生 (1992年4月より) 予定

氏名	スポンサークラブ	ホストクラブ	留学先	顧問ロータリアン
金容儀	光州東RC	箕面RC	大阪大学大学院	林喜英
D.Schoenfeld(Miss)	New York RC	豊中南RC	大阪大学大学院	上田卓也

4. 本年度留学中財団奨学生 (7月以降帰国予定) 36頁(A)参照

5. 1992～93年度留学予定奨学生一覧 37頁(B)参照

～MEMO～

(A) (本年度) 1991年9月～1992年6月 財団奨学生現況 (4月4日現在)

氏名	年齢	スポンサー・クラブ	顧問ロータリアン	留 学 先	課題
三宅 葉子	21	千里	小泉 進	バーミンガム大学	A
森田 直子	21	大阪天満橋	西海 栄悦	モンペリエ大学	A
橋本 安央	23	枚 方	永井 一	ノースウエスタン大学	A
武林多寿子	24	守 口	深田 清一	フェードリッヒ・アレクサンダー大学	A
喜住 明美	23	大 阪 南	山口 賢一	マックギル大学	A
藤井 英次	27	東大阪西	村上 正治	モントレイ インスタチチュト オブ インターナショナル スチュージオ	A
堀口 良一	30	大阪東淀	辻 秀哉	ブリュッセル大学	A
市原 美香	26	大阪鶴見	阿部成之助	エセックス大学大学院	A
田中 真理	22	豊 中	西山 敏之	ペンシルバニア大学	A
川北 健雄	30	大阪城南	萱島 進作	コロンビア大学	A
山地 加恵	23	豊 中 南	三田 裕	バリ第三大学	A
丸田 健	22	豊中-大阪 国際空港	小倉栄之助	ユニバシティ・カレッジ オブ スワンジー	A
山田 亜子	31	吹 田	佐藤 庄治	ユニバシティ オブ テキサス ヘルス サンエンス センター	C
滝本 将弘	28	大阪柏原	山本 光男	ハーバード大学	A
稲田せいか	25	大阪心斎橋	坂井 恒之	ペルー カトリック大学	A
菊地 なお	22	高 槻 東	北浦 信之	ランカスター大学	A
勝然 績雄	22	箕 面	西本 明文	チェンマイ大学人文科学	B
上島 美香 (1990～91)	22	千 里	厚母 孝治	ミラノ大学	B

田中不二夫 29 茨 木 野口 健一

(補欠-6番 立石麻優里 辞退のため) — 現在 正候補に申請中 —

※ A=大学院課程                    B=大学 課程                    C=職業 研修  
D=心身障害教師                    E=ジャーナリズム



(B) 1992～1993年度 財団国際親善奨学生留学先一覧 (4月4日現在)

氏名	年齢	性別	推薦RC	カウンセラー	留学先	課程別	HOST-D
日比野容子	21	女	箕面	宮田 純夫	ドイツ	B	1810
伊藤 公一	23	男	大阪平野	佐野 元英	フランス	B	1710
日比野真巳	25	女	守口	疋田 茂雄	イギリス	A	1110
石田 京子	23	女	枚方くずは	中 一皓	アメリカ	A	6490
道券 泰充	25	男	茨木東	山崎 秀夫	イギリス	A	1080
杉山賀津子	29	女	大阪城北	川村 一郎	アメリカ	A	7930
中本 恭平	30	男	大阪住之江	木村 護	イギリス	A	1170
野中 慶子	38	女	大阪住之江	李 景禹	アメリカ	C	7620
杉山 朗子	35	女	大阪天満橋	西海 栄悦	アメリカ	C	5150
林 奈津子	27	女	高槻	梶田 正直	アメリカ	A	5490
石賀 良子	22	女	高槻	梶田 正直	イギリス	A	1090
山田 知巳	29	男	吹田	佐藤 庄治	アメリカ	A	5170
内堀 朝子	25	女	池田	津川 正幸	アメリカ	A	7890
建林 正彦	26	男	高槻西	樋口 道夫	アメリカ	A	5340
藤井 洋子	25	女	高槻東	樋口 道夫	アメリカ	A	5160
北野 利一	24	男	大阪阿倍野	池内 秀夫	イタリア	A	2060
池田 祐子	26	女	大阪阿倍野	柿木 清司	スイス	A	1990
辻本真紀子	22	女	大阪阿倍野	岡田 曄昌	スペイン	A	2200
辻野 美法	25	女	大阪阿倍野	小西 浩二	ポルトガル	A	1960
早柏 由紀	23	女	大阪西南	大谷 透	イギリス	A	1130
柴田 千早	24	女	大阪西南	毛利 哲三	アメリカ	A	7620
.....			合計	21名	.....		
1990～1991			大阪西北	築添 正	フランス	A	1750
田口みづき (補欠-3番)							

# 財 団 増 進 委 員 会

委員長	田 中 穰 二 (大阪西南)	委員	執行 経 世 (枚 方)
委員	田 中 純 吉 (八 尾)	〃	鶴 飼 大 策 (摂 津)
〃	濱 田 新 (大阪うつぼ)	〃	橋 本 孝 司 (大阪大手前)
〃	柳 澤 忠 麿 (大阪住之江)		

## 1. 本年度の活動

- (1) 1991年5月9日新旧委員会を開催し、1990～91年度活動報告、次年度への伝達事項を承認し、新年度方針・計画を協議決定した。
- (2) 9月7日委員会を開催し、1990～91年度の当地区財団無条件寄付（現一般）が1名当たり目標100ドルを突破した旨報告を受けると共にIGF報告担当者（別項）、財団月間卓話依頼の積極的受入れにつき協議決定した。また、同日開催の第1回クラブ財団委員長会議のホストを担当した。
- (3) 10月25日委員会を開催し、古田財団委員より財団創立75周年特別行事、シェア・システム等につき説明を伺った後、1990～91年度当地区財団一般寄付の最終報告を確認し、財団月間の打合せを行った。
- (4) 12月21日開催の第2回クラブ財団委員長会議で田中委員長が財団増進委員会活動の現状と今後について報告した。
- (5) IGFでの報告者は下記の委員である。  
4組（9月28日）田中純吉、2組（10月12日）鶴飼大策、5組（10月26日）田中穰二、6組（11月30日）橋本孝司、3組（1月18日）執行経世、8組（2月1日）柳澤忠麿、1組（2月15日）田中穰二、7組（2月29日）濱田 新
- (6) 5月に本年度の最終委員会を開催の予定である。

## 2. 次年度への伝達事項

- (1) シェア・システムを当地区で実施するに際し、その具体的内容について検討すること。
- (2) 引きつづき当地区財団一般寄付1名当たり110ドル以上の目標達成を計ること。



# 財 団 学 友 委 員 会

委員長	仲 芳 樹 (吹 田)
委員	中 田 康 仁 (大 阪 南)
”	西 村 一 夫 (池 田)
”	大 井 勝 利 (東大阪西)
”	杉 森 芳 雄 (東大阪東)
”	野 村 正 勝 (箕面中央)

## 1. 奨学生歓迎会

平成3年8月24日、YMCAに於て奨学生帰国者歓迎会を開催した。例年の通りいろいろの事情に依り、出席者は6名に過ぎなかったが、帰国者は各々、国際関係論、環境と開発、コミュニケーション論、心理学、語学等のテーマにつき極めて高度な、有意義な報告をしてくれた。当日は菅生ガバナー他12名のロータリアン、PSCの会員8名、計27名の参加者を得て盛会裏にしかもなごやかに終了した。

## 2. PSCの育成と活動

学友会の有志によって結成されているPSCは偶数日の第一金曜日夜、なんば平野屋にて例会を持っている。毎回10名前後の出席者を得て、各々経験した事、自己の研究テーマについて語り合っている。

### ① 総 会

本年度は8月24日の奨学生歓迎会の当日開かれ、新旧役員の変更がなされた。

### ② 例 会

9月3日、11月1日、2月7日、4月3日、6月5日が例会日に当るが、年末12月には忘年懇親会を催し、12名の参加者を得て大いに親密の度を深めた。

### ③ 卓話バンク

11月のロータリー財団月間に備えて十数名用意したが、希望クラブ少なく、11月21日のなにわクラブ例会にはPSC会長岡本悦司君を派遣した。

㊟ 本年度奨学生オリエンテーション

P S Cの役員の出席を求め、P S CのP Rを行うことにしている。第2回オリエンテーション平成4年3月7日にはP S Cの岡本会長の卓話（留学中の保健衛生）を依頼した。

㊤ 地区大会シンポジウム

パネラーとしてP S C会長岡本悦司君を推薦した。尚朝食会にも同会長、副会長を案内した。

### 3. 学友会名簿の整備

最も手数のかかる名簿の整備は3・4月が人事移動期でもあるので年度後半の仕事とした。これはスポンサークラブの協力を得なければならないので、90年度の名簿を基礎にして調査方依頼した。4月末締切りで調整の上、年度末に印刷の予定である。

備考

印刷の出来上りは次年度に渡ると考えられるので次年度会計で精算の事、但し予算超過が見越されるので、次年度予算は20万円増が望ましい。

## 研究グループ交換委員会

委員長 細 江 重 (大阪東淀)	委員 増 田 鼎 (八 尾)
委員 木 村 英 一 (大阪住吉)	” 東 平 介 (寝屋川)
” 村 上 實 (池 田)	” 大 内 昭 男 (大阪鶴見)
” 木 川 稔 (摂 津)	” 横 田 喜久雄 (大阪東淀)

### ・アメリカ7690Dノースカロライナとの交換。

'91年2月派遣G S Eチームの報告書完成。(7月末配布)

上記派遣団の交換補助金R Iから受領(8/10)。同上地区からの受入れは、地区内各クラブを5ブロックに大別し、夫々1週間ずつ計画担当することに決定。



受入れブロック実行委員会編成、委嘱。第1回91年(7/3)、第2回(10/5)、第3回'92年(1/14)、第4回(3/11)、とそれぞれ開催。

此の間、順次7690DのGV、GSE委員長、来阪チーム団長と頻りに連絡し、受入れ日時、チーム編成(男子4名女子2名)、職業研修・見学希望等決定し計画完成(2/2)。

7690D、チーム来阪。研修開始(3/20)。

団長、エドワード・A・ブラウン(ソールズベリーRC会員)：冷凍設備製造設計、63才。

団員、シャノン・ニール：商務省国際貿易担当官、28才。ローラ・A・スウィンク：小学校教員、27才。ダイアン・M・キャロル：化学技術者コニカUSA勤務、30才。マーク・ペイン・レノズ：不動産業、27才。エモリー・ディーン・ブレイ3世：タイヤ販売、29才。

歓迎晚餐会、於新阪急ホテル(3/21)。

地区大会に、派遣・来阪両チーム参加(3/28)。

歓送晚餐会、於ロイヤルホテル(4/22)。

帰国離阪(4/23)。

#### ・次回GSE交換組合せ

アメリカ、5650Dネブラスカと交渉開始(8/21)。

ネブラスカとは、'93年秋に受入れ、'94年春に派遣とする旨合意した(11/20)。

従って'92～'93年度には交換を実施しないが、ネブラスカとの交換の準備に全力を挙げる。

#### ・次々回GSE交換組合せ

山中GNが国際協議会に於いて、南フランス1760Dと、北欧スエーデン2400Dとに接触され、GSEの交換を約された。'94～'95年度からの交換を目途としただちに交渉を開始する。



# 米 山 奨 学 部 門

担当パストガバナー 武 尾 敬之助 (大阪西北)

## 米 山 奨 学 委 員 会

委員長 永 野 啓之介 (豊中-大阪 国際空港)	委員 増 本 猛 (茨 木 東)
委員 渡 辺 斌 (東大阪中)	“ 崎 山 耕 作 (大阪住吉)
“ 井 上 幾 夫 (大阪淀川)	“ 平 岡 龍 人 (大 阪)
“ 宮 田 純 夫 (箕 面)	“ 板 垣 周 男 (豊中-大阪 国際空港)
“ 菅 晃 生 (大阪うつぼ)	

### 1. 寄付額 (1991年7月～1991年12月)

① 全 国	寄付合計	1, 138, 334, 714 円
	会員一人当たり平均	9, 579 円
② 第2660地区	寄付合計	94, 417, 535 円
	会員一人当たり平均	17, 943 円

地区合計額全国第2位、会員1人当たり平均額全国第2位であった。

### 2. 1992学年度奨学生数

	全 国	第2660地区
申込総数	1, 199人	70人
新規採用数	438人	29人
継続受給者	185人	18人
○ 第2660地区奨学生は次のとおり		
継続受給者	18人	
新規奨学生	29人 (内DisY-A奨学生1人、内DisY-B奨学生10人)	
CY奨学生	3人	

.....  
50人



### 3. 1992 学年度選考試験選考委員

#### ○ 一般委員

- 菅 生 浩 三 (大 阪 北)
- 武 尾 敬之助 (大 阪 西 北)
- 山 中 文 和 (大 阪 南)
- 種 田 憲 次 (大 阪 住 吉)
- 永 野 啓之介 (豊中一大阪国際空港)

#### ○ 専門委員

- 大 野 真 義 (高 槻)
- 崎 山 耕 作 (大 阪 住 吉)
- 野 村 正 勝 (箕 面 中 央)
- 藤 井 克 彦 (千 里)
- 山 本 研二郎 (大 阪 阪 南)
- 高 橋 理 明 (大 阪)

### 4. 実施した行事

- 1991年8月8日(木) 地区委員会 於：ガバナー事務所
- 1991年8月9日(金) マスコミの皆様とロータリーとの懇談会 於：大阪ターミナル  
ホテル
- 1991年9月2日(月) 全国地区委員長会議 於：東京
- 1991年9月4日(水) クラブ米山奨学委員長会議 於：薬業年金会館
- 1991年10月1～15日 奨学生募集(Y,DisY-Bとも本部)
- 1991年10月19日(土) レクリエーション 於：宝塚ファミリーランド・大劇場
- 1991年11月5日(火) 地区委員会 於：ガバナー事務所
- 1991年11月11日(月) Y,DisY-B資格審査 於：ガバナー事務所
- 1991年11月17日(日) 第8回身障児等恵まれない子供たちへの白浜招待旅行  
米山奨学生20名参加
- 1991年12月10日(火) 選考専門委員打ち合わせ 於：ガバナー事務所

1991年12月20日(金) 第1次書類選考 不合格通知、面接試験通知のチェック  
( 発送 )

1992年1月28日(火) 地区委員会 於：ガバナー事務所

1992年2月5日(水) 面接試験準備打ち合わせ 於：ガバナー事務所

1992年2月8日(土) Y面接試験 於：新阪急ビル

1992年2月11日(火) DisY-B面接試験 於：新阪急ビル

1992年2月17日(月) 最終選考会議 於：新阪急ビル

1992年3月1日(日) 奨学生終了者歓送会 於：新阪急ホテル

1992年3月24日(火) 地区委員会 世話クラブ、カウンセラーの決定  
於：ガバナー事務所

< これからの行事予定 >

1992年5月21日(木) オリエンテーション 於：薬業年金会館

～ MEMO ～



# ロータリーの友

地区委員 藤 木 厚 (豊 中)

## 1. 委員会活動報告

ロータリーの友委員会は平成3年7月1日、ガバナー、直前ガバナー、委員長、副委員長、特別顧問、顧問、監事、常任委員、地区委員、前地区委員等が出席された「合同地区委員会」に参加し、引続き7月13日、9月2日、11月11日、平成4年1月13日、3月2日の6回の委員会合同会議に参加し、本年度の当委員会の方針と活動について協議を行った。

## 2. 次年度委員長への伝達事項

新年度の当委員会は、委員長に対しすみやかに「友委員会の会議を開催し、委員会の本年度の方針と活動について協議をすべきであると思う。

～MEMO～

# 地 区 大 会

委員長 鴻池 藤 一 (大阪北)

幹 事 桐 山 輝 彦 (大阪北)

## 1. 地区大会基本方針

菅生ガバナーの意向を体し、本年度RIテーマ「自分を越えた眼を」に則り、会員及び家族にとって有益且つ楽しく、いつまでも思い出に残るような、またロータリーらしい大会にする。また、本年はロータリー財団創立75周年に当るため、それを記念する行事を行う。

## 2. 地区大会の準備

基本方針実現のため、地区大会事務局を開設し、地区大会実行委員会を組織した。

大会正副会長、大会委員長補佐、大会幹事を中心に、総務、プログラム登録受付、会場食事、接待、表彰招待者、広報記録、救護、会計、ソング、ゴルフ、財団75周年行事の各小委員会を設置した。

特に本年のRI会長代理がアメリカから来日されるに鑑み、パストガバナー各位の助言をいただくと共に、ご本人の希望等についても連絡を密にし、夫妻の受入に万全を期した。

## 3. 実行委員会の活動

実行委員会全体会議を6回(10月～3月)開催し、小委員会は随時開催した。また各委員会の責任・分担を明確にし、会場の下見、リハーサルを実施した。

① 各クラブの会員、家族の友好と啓発のため、主たる地区活動のVTRを放映する等により、交流の場の提供につとめる。



② 財団創立75周年記念募金を行った。

③ シンポジウム「大学問題」

その要旨が日刊新聞に大きく取り上げられ、又、NHK総合TVに放映される等により、一般の関心を集めた。

④ 講演会「国際情勢」

時局にふさわしい講演が好評であった。

以上の企画により、ご来賓68名、招待者108名および会員・ご夫人3,706名の登録をいただき、各行事とも盛会裡に終了することが出来た。

#### 4. 次年度委員会への伝達事項

本年度の大会記録は、近日中に小冊子にまとめて配布するが、詳細資料はクラブに保管しているので、必要に応じて質問にお答えすることが出来る。

次年度地区大会のご成功を切に祈ります。

～MEMO～



国際ロータリー第2660地区  
収 支 報 告 書

ガバナー地区財務委員長 菅西生  
地区会計 研 田 浩  
(単位 円)

収入の部

('91.7~'92.3)

科 目	予 算 額	3 月 収 入 額	累 計 額
前 期 繰 越 金	15,000,000	-	26,190,066
R 1 交 付 金	800,000	-	875,237
地区資金(15,000円×5,300人)	79,500,000	350,000	80,005,643
雑 収 入	700,000	111,755	569,526
合 計	96,000,000	461,755	107,640,472

支出の部

科 目	予 算 額	3 月 支 出 額	累 計 額
地区ガバナー指 名 委 員 会 会 費	200,000	-	75,747
地 意 義 有 る 業 績 賞 委 員 会 会 費	50,000	-	15,808
クラブ奉仕部門 会 員 増 強 委 員 会 会 費	200,000	-	165,643
会 員 報 告 委 員 会 会 費	3,500,000	-	1,775,631
規 定 報 告 委 員 会 会 費	700,000	233,780	425,103
職業奉仕部門 職 業 奉 仕 委 員 会 会 費	400,000	-	136,590
社 会 奉 仕 部 門 社 会 奉 仕 委 員 会 会 費	*1,770,000	59,872	1,932,131
社 会 奉 仕 部 門 社 会 奉 仕 委 員 会 会 費	150,000	1,440	42,066
環 境 保 全 委 員 会 会 費	250,000	13,523	118,557
環 境 保 全 委 員 会 会 費	0	-	0
青少年奉仕部門 青 少 年 活 動 委 員 会 会 費	2,600,000	-	856,255
活 動 委 員 会 会 費	2,800,000	23,870	2,914,135
活 動 委 員 会 会 費	5,400,000	7,490	5,420,074
国際奉仕部門 世 界 社 会 奉 仕 委 員 会 会 費	200,000	-	69,048
青 少 年 交 換 委 員 会 会 費	500,000	△ 286,965	527,751
国 際 交 流 平 和 委 員 会 会 費	250,000	19,692	163,696
活 動 委 員 会 会 費	100,000	-	36,812
財 団 奨 学 委 員 会 会 費	1,500,000	190,899	520,018
財 団 奨 学 委 員 会 会 費	*6,620,000	29,030	1,993,609
財 団 奨 学 委 員 会 会 費	240,000	-	139,123
財 団 奨 学 委 員 会 会 費	400,000	4,030	291,097
財 団 奨 学 委 員 会 会 費	500,000	8,640	492,990
財 団 奨 学 委 員 会 会 費	150,000	-	780
財 団 奨 学 委 員 会 会 費	900,000	-	0
財 団 奨 学 委 員 会 会 費	29,380,000	( 305,301)	( 18,112,664)
地区大会補助費	310,000	310,000	310,000
地区協議会補助費	310,000	310,000	310,000
地区協議会補助費	3,100,000	-	2,531,109
ガバナー打ち合せ会議費	2,100,000	180,000	1,364,988
R 1 会 長 記 念 品 代	160,000	160,000	160,000
R 1 会 長 記 念 品 代	370,000	370,000	370,000
直前ガバナー国際会議参加補助費	260,000	260,000	260,000
直前ガバナー国際会議参加補助費	830,000	830,000	830,000
直前ガバナー国際会議参加補助費	800,000	-	0
直前ガバナー国際会議参加補助費	8,240,000	(2,420,000)	( 6,136,097)
日本国内ガバナー会(200円×5,300人)	1,060,000	-	1,051,500
ロータリー文庫協力費(200円×5,300人)	1,060,000	-	1,317,050
地区大会分担金(3,000円×5,300人)	15,900,000	11,900,000	15,901,236
ガバナー月信 製 版 ・ 印 刷 ・ 送 料 ・ ホ ル ダ ー	9,400,000	638,600	7,947,572
印 刷 費	300,000	-	0
印 刷 費	9,700,000	( 638,600)	( 7,947,572)
借 室 料 ・ 光 熱 料	4,429,000	206,000	3,708,000
借 室 料 ・ 光 熱 料	11,400,000	340,400	8,462,408
借 室 料 ・ 光 熱 料	1,240,000	91,798	335,337
借 室 料 ・ 光 熱 料	1,650,000	24,308	1,542,116
借 室 料 ・ 光 熱 料	2,300,000	68,001	1,927,583
借 室 料 ・ 光 熱 料	150,000	2,678	112,751
借 室 料 ・ 光 熱 料	1,000,000	16,863	832,858
借 室 料 ・ 光 熱 料	500,000	1,648	258,367
借 室 料 ・ 光 熱 料	1,700,000	128,091	1,877,524
借 室 料 ・ 光 熱 料	500,000	-	0
借 室 料 ・ 光 熱 料	24,869,000	879,787	19,056,944
合 計	90,209,000	<16,143,688>	< 69,523,063>
差 引 収 支 差 額		△15,681,933	38,117,409

財産目録 普通預金 3,868,488 定期預金 25,000,000 仮払金 9,248,921

\*印は、補正後の金額



特 別 会 計

1991年 7月 ~ 1992年 3月

(1) 青少年交換フェウンド

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前期繰越金	4,202,325	補助金	8,800,000
各クラブ分担金	16,280,464	通信費その他	205,157
預金利息	93,216	行事費	177,160
雑収入	50,000	青少年交換委員	400,000
口座開設預入金	1,000	次月繰越金	11,044,688
合計	20,627,005	合計	20,627,005

(4) 社会奉仕委員会身障児等参加費

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前期繰越金	37,902	行事費	1,193,218
各クラブ分担金	1,155,000	次月繰越金	2,868
預金利息	2,184		
口座開設預入金	1,000		
合計	1,196,086	合計	1,196,086

(2) ライラ指導指針

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前期繰越金	686,865	次月繰越金	696,694
預金利息	8,829		
口座開設預入金	1,000		
合計	696,694	合計	696,694

(5) 社会奉仕委員会身障児等招待費

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前期繰越金	40,882	行事費	4,566,918
各クラブ分担金	4,525,300	次月繰越金	8,635
預金利息	8,371		
口座開設預入金	1,000		
合計	4,575,553	合計	4,575,553

(3) 世界社会奉仕委員会基金

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前期繰越金	2,294,532	支援金	9,750,000
各クラブ分担金	13,459,496	諸経費	364,000
預金利息	104,387	次月繰越金	5,745,415
口座開設預入金	1,000		
合計	15,859,415	合計	15,859,415

(6) マニュアル編集委員会

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前期繰越金	644,232	次月繰越金	653,204
預金利息	7,972		
口座開設預入金	1,000		
合計	653,204	合計	653,204

(7) S&C 海遊館の集い

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前期繰越金	53,596	次月繰越金	58,159
各クラブ分担金			
預金利息	3,563		
口座開設預入金	1,000		
合計	58,159	合計	58,159

(8) 職業分類編集委員会

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前期繰越金	16,029	次月繰越金	32,248
各クラブ分担金	15,000		
預金利息	219		
口座開設預入金	1,000		
合計	32,248	合計	32,248

(9) 島原災害義損金

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
各クラブ分担金	5,580,000	島原災害義損金	5,580,000
口座開設預入金	1,000	雑費	1,000
預金利息	4,234	次月繰越金	4,234
合計	5,585,234	合計	5,585,234

(10) 世界社会奉仕災害義損金

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
各クラブ分担金	4,346,947	ピナツボ救援	4,300,000
口座開設預入金	1,000	雑費	618
預金利息	19,395	次月繰越金	66,724
合計	4,367,342	合計	4,367,342







## 「奉仕の理想」

作詞・元京都RC 前田源一郎

作曲・元東京RC 萩原 英一

奉仕の理想に 集いし友よ  
御国に捧げん 我等の業い  
望むは世界の 久遠の平和  
めぐる歯車 いや輝きて  
永久に栄えよ 我等のロータリー  
ロータリー

## 「我等の生業」

作詞／高野 辰之

作曲／岡野 貞一

我等の生業さまざまなれど

集いて図る心は一つ

求むるところは平和親睦

力むるところは向上奉仕

おお ロータリアン

我等の集い

